

オープニング: 応用物理におけるインフォマティクス応用の最前線

Opening: Frontier of applied informatics in the research field of applied physics

理研¹, 物材機構², 東京理科大³, ソニーグループ株式会社⁴, 名大⁵

○沓掛健太郎¹, 知京豊裕², 小嗣真人³, 富谷茂隆⁴, 原田俊太⁵

RIKEN¹, NIMS², Tokyo Univ. of Sci.³, Sony Group Corporation⁴, Nagoya Univ.⁵

°Kentaro Kutsukake¹, Toyohiro Chikyow², Masato Kotsugi³, Shigetaka Tomiya⁴, Shunta Harada⁵

E-mail: kentaro.kutsukake@riken.jp

応用物理学会新領域グループ「インフォマティクス応用研究グループ」が2020年に発足してから2年が経過し、2022年1月より応用物理学会研究会「インフォマティクス応用研究会」に昇格しました。また学術講演会においても、合同セッション N「インフォマティクス応用」が設置されて3年が経過し、マテリアルズインフォマティクス、データベースの構築・活用、各種最適化、計測インフォマティクスなど、研究トピックも大きな広がりを見せています。そこで「インフォマティクス応用研究会」発足を良い機会として、拡大が続くインフォマティクス応用研究を整理し、また新たな研究展開を探す契機として、各分野の第一人者をお招きしたシンポジウムを企画します。また企業からの講演として、機械学習を活用した原子レベルシミュレーションや量子コンピュータを活用した材料設計など、新しい技術を紹介していただきます。



Fig. 1 インフォマティクス応用研究会の HP : <https://annex.jsap.or.jp/informatics/>